



でらボラ NAGOYA 通信

2017年 11月号

10月4日から7日まで福島・宮城を訪問してきました。今年の3月にほとんどの仮設は閉鎖されましたが、福島市北幹線仮設は、福島第一原発が立地する大熊町と隣の浪江町から避難している方たちが住んでおられるので来年3月末閉鎖の予定です。私たちが何度も訪問している、浪江町の方の仮設は当初200戸あったのですが、現在は各地に建てられた復興住宅などへ引っ越した方が多く、30戸ほどが住んでおられます。不便な生活ながら、近所付き合いをしてきた人たちが、見知らぬ土地へバラバラに移り住むことは大変な負担だろうと思います。不便なところに建てられた復興住宅は、医者や買い物に行くことが困難な所も多いようです。また、新たな人間関係を築くのが億劫で引きこもってしまう方もあるようです。あるおばあちゃんは、若い者（子供や孫たち）はとても危なくて無理だが、年寄り



いので、浪江の町へじいちゃんと戻るとおっしゃっていました。鍋を囲んで食べたり、歌ったり、踊ったりしました。はじめは、座っていたおばあちゃんも一緒に踊って下さって楽しく過ごせました。



私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人のつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

10月の活動支援金は 37,962 円でした。たくさんのご協力をありがとうございました。





2011年以來、年末に東別院へ保養に来ている福島県二本松市の真行寺同朋幼稚園の卒園生も沢山参加している、提灯祭りに行きました小学生から青壮年まで、力を合わせ、先輩がリードしまとめている姿は感動的でした。3日間学校が休みになり、地域をあげてのお祭りです。

宮城県山元町の「工房地球村」とNPO法人「ポラリス」では紙芝居、歌、踊りをしました。はじめは緊張して固い表情ですが、次第に笑顔に変わっていきます。



郡山市の福島朝鮮初中級学校と、仙台市の東北朝鮮初中級学校に行きました。

震災以来、どちらの学校も生徒が減り授業だけでなく、部活動も大変だそうです。休み時間に集まって来た小学生の始めた「花いちもんめ」に入れてもらいました。紙芝居のあと手をつないで歌ったり、踊ったり、



短い時間でしたが、楽しかったです。人と人が手をつなぐことは、言葉や理屈を超えた素晴らしさがあると思いました。



でらボラ NAGOYA 会員 募集中！

【入会資格】不要です

【会費】不要です(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com